

遠藤 暁及 りょうきゆう

## 危険な道楽、アースキャラバン(5)

# ロヒンギャ難民キャンプを歩く

### (1) ロヒンギャ難民キャンプ

ロヒンギャ難民キャンプに入るには、ややこしい許可証の発行を受ける必要があった。アースキャラバンには幸い“つて”があり、日本から行った僕ら4人は、最短の日数でキャンプに入ることができた。

場所は、アースキャラバンのセンターがあるコックス・バザールから、さらに3時間ほど車でいったところだ。

許可証を取ってくれた現地 NGO のコリン氏によると、“公称100万人だけど、実数は150万人。でも、これからもっと増えるね”とのことだった。(なんと、京都の人口より多いではないか！)

現地に行かなければ絶対にわからないことがある。これはパレスチナに行って思い知った鉄則だ。だからこぼ僕は「ロヒンギャ難民キャンプの視察」を、めまぐるしいバングラデシュ活動予定の中に、あらかじめ日本を発つ前から入れておいたのだ。

キャンプ内に入って、まずその広大さに圧倒された。至るところに小屋が建っている。ユニセフなど、有名どころの海外 NGO の事務所や施設などもたくさんあった。中には雑貨屋のような店まである。キャンプというよりは、まるで村のようだった。

過密な活動スケジュールの合間を抜けて訪れた僕らに、あまり時間はなかった。それでも医療施設や、テントでできた学校を訪問した。そしてロヒンギャの子供たちの授業を参観し、先生と話をすること等ができた。

コリン氏が運営している医療施設では、スタッフの皆さんから、活動状況について話を聞いた。日常的なちょっとした病気や怪我の治療から、出産の相談も受けているという。

翌朝、僕らはチッタゴンに向けて出発した。

### (2) 迫害されて来た

#### バングラデシュ仏教徒

はじめてバングラデッシュ人の仏教僧侶に会ったのは、まだ90年代半ばのころだった。

京都に来た僧侶の名前はソナといった。なんでも“バングラデッシュ軍に仏教徒たちが殺されているのでタイに亡命した”と言う。その時は、“バングラデッシュの仏教徒？ 殺されているので亡命？ うーん、、、？ そんなニュース、聞いたことがなかったけど、、、”

まだネットなどない頃だ。今思うと申し訳ないけど、それが話を聞いた時の僕の正直な気持ちだった。今でもこの問題を知っている人は、ごく少数に過ぎないから、当時は皆無だったと思う。



あれから4半世紀以上もの年月が経った。かつて僧侶ソナが訴えていた、“土地を奪われ、虐殺され、レイプされている仏教徒たち”の住む地を、まさか自分が訪れ、調査し、支援活動を始めることになるとは思わなかった。

### (3) 素晴らしかったモノゴール寄宿学校

バングラデッシュの仏教徒たちが住むのは、チッタゴン丘陵からミャンマーにかけての地帯である。アースキャラバンが10年前から支援して来た、コックスバザール周辺に住む仏教徒ラカイン族もそうだ。

ジュマ族などの仏教徒たちは長年に亘り、バングラデッシュ軍や入植者によって数々の残酷な目にあって来た。

この事実を受け止めて以来、現地に行きたいと思っていた僕は、実情に詳しいアメリカ人のトムに会った。そして、現地の人とメールのやり取りを始めた。

トムに紹介してもらったのは、ランガマテ



イなどの3か所だった。その内の1つ、カグラチャリでは数年前、400軒もの家が焼き討ちにあったという。

虐殺やレイプはおろか、家の焼き討ちにしても、バングラデッシュを含めて世界のどのメディアでも、報道されることはない。厳しい報道管制が敷かれ、多くの現地ジャーナリストは獄に繋がれているのだ。また外国人は、許可なくチッタゴン丘陵に入ることはできない。ジャーナリストなど論外である。

残念ながら、今回僕たちが許可を取ることができたのは1か所、ランガマティだけだった。それでも行って良かった！と心から思った。彼らが創り上げた、1600人の生徒がいるモノゴール寄宿学校が素晴らしかったのだ！

事務局のアショカさんとリーダーの僧侶に構内をいろいろ案内してもらった。敷地内では、有機農業や太陽光発電もやっていた。寄宿舎には、親が虐殺されて孤児になった生徒たちもいた。

“パレスチナと状況がよく似ていますね”と言ったら返って来た言葉に絶句した。というのは、この寄宿学校の出身者と結婚し、ロンドンに在住しているパレスチナ人の女性がいる。彼女が、“パレスチナより酷い”、と言ったそうなのだ。

### (4) アースキャラバンの企画

アースキャラバンでは、2015年から「パレスチナ平和巡礼の旅」をやって来た。このツアーは、毎年、大きくなって来た。今後は、「バングラデッシュ仏教徒の地帯を巡る旅」ツアーも併せて行っていききたいと思う。

計画を実現するためには、これからさらに調査が必要だ。でも、始まったらきっと、参加者にとって驚くような発見のある旅になるに違いない。

## アースキャラバン

NPO 法人アースキャラバン  
(京都タオサンガセンター内)  
TEL/FAX=075-551-2770  
<https://www.earthcaravan.jp/>



→案内してくれた事務局長のアショカ氏

↑ロヒンギャ難民キャンプを歩く

アースキャラバンのサイトにリンクして下さる↓

←子供たちにも気さくに話しかけるリーダーの僧侶

